



令和二年度 高等部 入学選考問題

国 語

注 意

- 1 最初に，この表紙に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 2 合図があるまで，問題を見てはいけません。
- 3 答えは，問題用紙のきめられた場所に明確に記入しなさい。
- 4 試験が終わったら，すべての問題用紙を提出しなさい。

受 験 番 号	氏 名

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

(高国語七一)

一 次の①・②に合うことばを一つずつ見つけて、□の中に○を書きなさい。

あきひろ	おはようございます。
校長先生	おはようございます。
	きみはくみのあきひろくんでしたね。
あきひろ	(①)
校長先生	たんじんの山田先生はどこにいるかわかりますか。
あきひろ	(②)

①		
	はい、そうです。	
	わかりません。	
	あなた、だれ。	
②		
	山田先生ならいますよ。	
	あっちのほうだよ。	
	教室にいます。	

二 次の文の中から、かたかなで書くことばを見つけて、□の中にかたかなで書きなさい。

一	あめりかから	友だちが	やってきました。
二	ごおりが	ぱりぱりと	音を たてて われます。
三	いつか	てにすを	やってみたいです。

(高国語七一一)

〔三〕 次の――線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

〔一〕 周囲に何もないような、さみしい場所でした。

〔二〕 春のおとずれを告げる鳥の鳴き声。

〔三〕 戦争は、もう二度と起こしてはならない。

〔四〕 不必要なものは、持ってこないように。

〔一〕
〔二〕
〔三〕
〔四〕

〔四〕 次の〓線の言葉は、どの言葉をくわしくしているか、それぞれア～エの記号で答えなさい。

〔二〕 大きな船に、乗って、遠くへ、行きたい。

〔二〕 ア 明日は、とても、イ 風が、ウ 強いと、エ 言っていました。

〔一〕
〔二〕

〔五〕 次の□にあてはまるつなぎ言葉を、あとのア～オから選び、それぞれ記号で答えなさい。

〔二〕 給食は、おかわりができます。□、残さずに食べられる人だけです。

〔二〕 妹はまじめだ。□夏休みの宿題は、いつも最初に終わらせてしまう。

〔一〕
〔二〕

ア すると イ だから ウ つまり エ ただし オ さて

〔六〕 次の□にあてはまる慣用句を、あとのア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

〔二〕 昨日は本当にはずかしかった。まるで□思いだったよ。

〔二〕 そんないかげんなことを言って、□ようなまねをしても、ダメだよ。

〔一〕
〔二〕

ア お茶をにごす イ 手を焼く ウ 顔から火が出る エ 目が回る

〔七〕 次の文章を読んであとの間に答えなさい。

著作権者への配慮から
 現時点での掲載を差し控えております。

著作権者への配慮から
 現時点での掲載を差し控えております。

(杉本苑子『少年少女古典文学館9今昔物語集』講談社より

一部改変)

〔一〕 — 線①「捨てて」の読みをひらがなで書きなさい。

てて

〔二〕 — 線②「むごたらしい」とは反対に、他人をいたわったり同情したりする心として、本文ではどんな心があげられていますか。文章中から四字でぬき出し、書きなさい。

の心

〔三〕 — 線③「あのうさぎのたたり」とあるが、これは男のからだに何ができたことを指しますか。文章中から九字でぬき出し、書きなさい。

の心

〔四〕 この文章では、必ずしも「生きものすべてを殺してはならない」とは言っていません。それはなぜだと思いますか。次の□に当てはまる言葉を考えて、二〜五字で書きなさい。

人間は、他の生きものを殺して食べないことには、

ことができないから。

ことができないから。

〔八〕 次の文章を読んであとの間に答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を差し控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を差し控えております。

〔二〕 ア エ には「必修科目」「選択科目」のいずれかが入る。「必修科目」が入る箇所を二つ選び、記号で答えなさい。

〔二〕 A に入る語句を文章中からぬき出し、書きなさい。

〔三〕 a c に入る語として適切なものを、次のア～ウから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア むしろ イ でも ウ つまり

a

b

c

〔四〕 ―線①「映画などで、親から出生の秘密」とあるが、筆者がこの例を挙げたのはなぜか。次のア～エから適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 出生の秘密を知ることによって、血のつながりを超えた新たな結びつきが生じる、一つの例となるから。

イ 秘密を明かす際に使われる言葉の言い回し一つで、与えられる印象がガラリと変わるから。

ウ それまで信じていた世界像がガラリと変わるような例は、映画の中でしか見られないものだから。

エ 世界が何一つ変わらなくても、言葉によって心の中の世界像がガラリと変わる良い例となるから。

〔五〕 ―線②「人間は言葉の介在無しに世界そのものを直に生きることはできない」とはどういうことか。

次のア～エから適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 私たちは、言葉によって作られた世界像を通してのみ、世界そのものに接することができるということ。

イ 私たちは、内なる世界像を生きているに過ぎず、外の世界を知ることができないということ。

ウ 私たちは、一人一人の内なる言葉によって、一つの共通の世界に生きているということ。

エ 私たちは、蜘蛛が糸を張り続けるように、絶えず世界像を広げながら生きているということ。

(高国語七―七)

〔九〕 「二」～「五」の――線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

〔二〕 銅像を鋳る。

〔二〕 秋の紅葉の時期は殊に美しい。

〔三〕 世の中に警鐘を鳴らす。

〔四〕 カタログを頒布する。

〔五〕 会議に諮る。

〔一〕
〔二〕
〔三〕
〔四〕
〔五〕

〔十〕 「二」～「五」の――線の文の成分を、次のア～オから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語 エ 接続語 オ 独立語

〔二〕 お前たちは本当は血を分けた兄妹なんだ。

〔二〕 そして、どうやら言葉はそのことに深く関わっているらしい。

〔三〕 逆に云えば、言葉によって世界像は書き換えられることになる。

〔四〕 あ、カスターネットガール。

〔五〕 私が読書に特別な意味を見出したくなるのはそのためではないか、と考えました。

〔一〕
〔二〕
〔三〕
〔四〕
〔五〕